

第21回 静岡県同窓会総会 開催

平成29年11月25日(土) ザ・グラントティアラ沼津

大好評 講演「あるあるダンス」 日体大副学長 笠井里津子先生 (静岡市出身 清水区)

日 體

静岡県
同窓会報
(第三十四号)

発行
日体大静岡県会報
編集委員会
発行日
平成30年6月1日

強い日体大を底支えする同窓会 「五学部の大規模大学を視野に」



日本体育大学静岡県同窓会

会長 松田清孝

(昭50卒)

同窓の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察し、心よりお慶び申し上げます。

日頃から本会の活動に深いご理解をいただき、母校並びに学生や関係者に対して、物心両面にわたる多大なご支援を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

二〇二〇年、東京五輪パラリンピックに向け、各競技において日体大は大躍進を続けておりますが、とりわけ、昨年十一月の第四十八回明治神宮野球大会での三十七年ぶり二回目の学生日本一や、七十年連続出場中の正月恒例の箱根駅伝四位入賞でのシード権確保などは明るいニュースでありました。さらに、韓国平昌オリンピックでは、高木美帆選手が金・銀・銅メダル、高梨紗羅選手が銅メダル獲得と日体大関係者が大活躍し、二年後の東京大会に大きな弾みをつけてくれました。

母校日体大は、この春第五番目の学部として「スポ



ました講師の皆様にも、心から感謝申し上げます。

昨年の参加者の就職状況は堅調であり、研修体験が奏功したものと考えられますことから、継続的な学生の参加促進や、研修内容の充実が重要であると考えております。

今後の企画として、市町の行政や企業に対して、日体大の広報や人材の紹介を行うことも、同窓会の有効な就職対策支援事業になるものと考え、行政や企業で活躍する同窓生の皆様の力をお借りした広報活動も考えてみたいと思います。そのためにも、同窓会組織の絆を一層強化し、教職・公務員・民間企業の垣根を取り払い、全力で後輩の支援体制を堅固にすることが、二〇一八年問題や少子化時代に生き残る「強い日体大」の底支えになるものと考えます。皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

「ツマネージメント学部」を開設し、これに先立つセンター試験初参入など、新たな取組もスタートさせました。

前会報でもご案内のとおり、日体大生の就職は教職約二割、民間企業約六割と多様化の傾向が顕著であります。一月十五日、深沢キャンパスで開催した就職対策研修会には、一年生と二年生が多く参加してくれ、進路意識の高さを感じました。

当日、指導や講話を担当いただき

さらなる前進を



東部地区長
小山町立小山中学校
鈴木 幸 (昭55卒)

東部地区長を仰せつかり二年目となりました。

諸先輩方の築いてくださいました